

(学年) 第1学年, (教科・科目) 公民・現代社会

一斉学習

(単元) 第4章 現代の国際社会と日本の役割
第2節 国際政治の動向と平和の追求

(本時のねらい)

国際社会の仕組みや関係性について理解するとともに、今起きているロシアのウクライナ侵攻に関して最新のニュースを元に平和について考えさせる。経済体制の違いやNATOやワルシャワ条約機構の成立、ソ連の解体と、このたびの侵攻に対する国際社会の動きなどについての理解を深めさせる。

(ICT活用方法)

ロシアに侵攻されているウクライナの実情を説明するために、インターネットを用いてニュースの動画を視聴したり、記事や写真を見たりする。従来は新聞記事を利用していたが、インターネットの利用により、刻々と変化する最新の状況を認識しやすいとともに、海外の大手放送局の取材など、幅広い情報に触れることができるようになった。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・ウクライナの位置と周辺国の状況を理解させる。	・日本との位置関係なども確認させる。	・地図検索サイトを利用
展開 35分	・最新のニュース一覧を見る。 ・ウクライナ問題に関する報道記事をいくつか視聴する。	・ウクライナ問題についてのニュースがとて多いことに気づかせる。 ・戦闘下の一般市民の声から、戦争の恐ろしさや国際平和の大切さを考える。	・インターネットに接続し、検索サイトのトップページからトピック一覧、さらに国際ニュース一覧を提示する。 ・BBC動画ニュースなど、公共性の高いサイトを利用する。
まとめ 5分			

(授業の様子)



ニュース記事の内容総覧



BBC 動画ニュースから

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

生徒の中にはウクライナ問題を知らないものもいたが、今まさに攻撃が行われ、「逃げようにも行くところがない」というウクライナ市民の声や逼迫した状況を注視していた。刻々と変化する情勢の上、立場が違えば主張や考え方も違って来るので、ウクライナ問題は国際社会の課題の縮図だが、あまりにも考えさせることが多岐にわたるので、時間をかけて総合的に俯瞰できるよう丁寧に指導しなければならない。内容的にはちょっと難しかったかもしれない。